

株式会社スズキ建築設計事務所

SDGs (Sustainable Development Goals) の取り組み



SDGsの目標		当事務所の活動・取り組み
1	貧困削減	生まれた環境に左右されないように、地位社会との連携による、子ども食堂の実施・継続。 地域企業・経営者・意識ある方々のボランティア参加、連携による貧困な子供達への応援。
2	飢餓・食の安全保障	近隣地域での子ども食堂の実施・食事の提供だけでなく、子ども達へ食事の作り方も教えている。
3	健康・福祉	国産木材・自然素材の積極的な内外空間への採用・自然素材での住まいづくりにより、室内空気汚染対策を実践。
4	教育	日本の住宅建築における伝統技術の継承・職人の育成。 古民家再生の、ワークショップ活動を通して、働くことの楽しさ、建築技術の習得、伝承。 子ども食堂内でのボランティアによる、学習遅れの子ども達への学習支援。
5	ジェンダー	男女ともに働ける環境づくりに務め、女性監督・作業員の採用・積極的な取り組み
6	水・衛生	国産木材の活用による、林業の活性化により、国土の地山、治水への貢献。 セントラル浄水器の採用により、水道水に含まれる、トリハロメタン、塩素対策・水の安全
7	エネルギー	国産木材を使用することにより、輸入木材に比べて、運送エネルギー削減・CO2の削減努力
8	経済成長と雇用	国産材の積極的活用により、林業の活性化、発展、日本の木造住宅建築に携わる事で働きがいある環境を提供。
9	インフラ/ノベーション	国産材の無垢材使用により、災害被害住宅・建物の再利用建材により、災害廃棄物の削減。
10	不平等の削減	当事務所内での木工教室や餅つき会などのイベント・セミナー等、誰もが平等に参加する事が出来る。
11	持続可能な都市	耐震診断による既存住宅の長期利用・空き家対策への参加。 健康で安全なオール国産材による住まいづくりの取り組み・実践により、安全な居住環境の実現。
12	持続可能な消費と生産	循環型資材である、国産木材の積極的利用。間伐材活用の国産桧無垢集成材の積極的利用・家具製作。 山村や里山で、薪・燃料として使われていたクスギ材等の、利用・活用。
13	気候変動	国産材・自然素材をより利用活用し、建築時のCO2排出を少なくし、地球温暖化防止のために努力。
14	海洋資源	塩化ビニール建材製品・建材を出来るだけ使用しない事により、水質汚染を減らし、海洋生物の生態を守る努力。一例として、塩化ビニール雨樋の不採用。
15	土地利用	トレーサビリティによる国産木材の積極的利用、国産木材利用による林業の促進、循環資源の木材資源・CO2対策により、持続可能な森林への協力等。 地方の古民家の空き家を都市部の希望者に紹介し、古民家活用、また、事務所所在地の市の空き家対策への参加。
16	平和・法の支配	世界及び、国内の違法伐採の木材を排除し、工事現場からの、産業廃棄物の不法投棄の禁止、協力業者へ徹底。海外からの不法就業者の禁止。 子ども食堂を通し、子ども達への暴力や虐待等に向き合い、解決策を模索する。
17	パートナーシップ	宮崎県産直住宅推進協議会でのパートナーシップにより、持続可能な国産木材・林業の活性化に取り組んでいる。